



6部門中5部門に出場し、そのすべてで優勝を果たしました



第50回邑楽郡上毛かるた競技大会 若あゆ大活躍

1月31日(日)、板倉中学校体育館で第50回邑楽郡上毛かるた競技大会が開催されました。邑楽郡内各町の代表チームが出場し、県大会出場を目指して札を取り合いました。板倉町代表の「若あゆ子ども会」は出場した全ての部門で優勝し、県大会への切符を手に入れました。

邑楽郡大会と県大会の結果詳細は、P11に掲載してあります→

関口きんさん(中央)と家族の皆さん



祝 100歳到達

2月10日(水)、めでたく100歳になられた関口きんさん(大字除川)に、町長から慶祝状と記念品が贈呈されました。関口さんに元気の秘けつを聞いてみたところ、「自宅が渡良瀬川の堤防沿いであって、子育てや農作業をしたときに堤防を上り下りしたので、足腰が鍛えられたことかな」また、慶祝状を手にして「ありがとう。家族をはじめ、皆さんに感謝したい」と笑顔で話してくれました。

地域で文化財を守る 文化財模擬火災訓練

1月24日(日)、国や県の重要文化財がある雷電神社で文化財模擬火災訓練が行われました。

この訓練は、法隆寺金堂が焼損した1月26日に近い日曜日に毎年実施しています。この日は雷電神社の本社より出火したという想定で、雷電神社の氏子総代や消防団のかたがたが協力して消火訓練にあたりました。



水しぶきを受ける真冬の放水訓練は身体の芯から冷える思い

無病息災を願う 雷電神社節分祭

2月3日(水)、雷電神社で毎年恒例の節分祭と豆まき式が行われました。

境内に、赤と緑の色が鮮やかで、目がぱっちりとした鬼が登場すると、板倉保育園の園児たちが歓声を上げ、「鬼は外、福は内」というかけ声と共に元気よく鬼達に向かって豆を投げました。観客達からは大きな笑い声と拍手が起こり、うらかな春の訪れを感じていました。



節分の雰囲気を作るため、鬼のお面を被りました

難しいテーマに対し、ユーモアを交えて講演した細谷好則氏



町の活性化に 賀詞交歓会

1月31日(日)、賀詞交歓会が東洋大学板倉キャンパスで開催されました。今年は大字板倉出身の医学博士、細谷好則氏より「消化器疾患の外科治療」という内容で記念講演が行われました。続く交歓会では、各分野において、町を支えてくださっているかたがたが一堂に会し、情報交換が行われ、町の活性化につながる貴重なひとときになりました。

立志式を迎え、元気よく校歌を歌う123人の生徒たち



メッセージを入れたタイムカプセルを栗原町長に渡す



大人への第一歩 立志式

2月12日(金)、板倉中学校体育館で立志式が行われました。成人式に開封予定のタイムカプセルに20歳になった自分宛のメッセージが封印されました。卒業生の講演では、町内で建築設計事務所を経営する大橋崇弘さんが自身の学生時代の経験をふまえ、「私は仲間はずっと助けられている。たくさんでなくてもよいので、自分に刺激を与えてくれる人、相談できる人に出会ってください」と話しました。

学生時代の写真や手がけた建築物をスライドで披露